

## なつの思い出

いつも家事に追われて、これとって趣味のない生活を繰り返しているわけですが、習慣的にしていることの一つとして、週に一度のプール通いがあります。普段は屋内プールで泳いでいるのですが、だいたいどこも25mなので、金魚鉢の中を泳いでいるような感覚になります。すいているところでないと、狭さが際立つので、あまり人気のなさそうな市民プールに行くことがほとんどです。

しかし、夏の間は屋外プールが開場されます。こちらは逆に50mプールなので、泳ぎの醍醐味を味わうことができます。夕方の時間帯で、子供たちが帰っていく時間を狙います。天候次第では50mプールに3人程度しかいないこともあります。僕はノルマとして1000mを止まらずに泳ぐことを科しているので、障害物があるともものすごくブルーになります。逆に人がいないとき、快晴のお日様の下、クロールの息継ぎのときに脇下から仰ぎ見る青空のなんと心地よいこと。何にも考えずに、ああ生きててよかった、と思える瞬間です。

さて8月も終わりになり、僕が最頂にしている朝日が丘プールでも最後にイベントが開かれます。芦屋市民水泳大会です。一度は水泳競技に出てみたいと思って、いろいろと調べたりしていますと、アクアスロンという競技があり、これはトライアスロンの自転車競技を抜いたものです。今年の夏に須磨で300mスイム、3kmランというコースがありました。残念ながら気づくのが遅く、申込みできなかったのです。次に芦屋で9月に500mスイム、5kmランというコースがあり、出てみたいなと嫁に言うと、絶対やめて！と反論されてしょうがなく、まずは市民水泳大会からということになったのでした。調子に乗って100m自由形にエントリーです。

とりたてて準備もすることができずに、当日を迎えました。といっても、一日のみ100mを真剣に泳いだらどうなるか、ということを実習する日がありました。感触としては、100mで溺れることはないが、でも70mを超えると急にきつくなるということが分かり、本番は一本のみにかけるという信念を得ました。レース番号は52番です。50mレースにも平泳ぎ、自由形、バタフライ、背泳ぎとあって、それぞれに小学校4年以下、5・6年、中学生、高校生、一般、それぞれ男女別に細かく分かれています。朝9時半から開始され、レースが次々に開催されていくはずですが、何時に始まるか分からないレースを前に、お昼前に行けば、たぶん半分くらい終わっているだろうと余裕をかまして11時に家を出発して出かけたのです。ところが、プールについてみると、人影がまばらです。

「あの、すいません。レースは？」と言うと、「もう終わりました。もしかして選手の方ですか？」と言われ、茫然としていると、「今からでも測りますか？」と渡りに舟を出してくれた係員がいました。恰好悪いですが、「すいません。お願いします。」となったのでした。今年は大会が31日になったため、学生が明日から新学期という切羽詰まった日になり、参加を団体で取りやめたという理由があったようです。

しかし係員が見守る中、恥ずかしげもなく、準備ができたのは、その時はまだ自分に自信があったからに違いありません。Upして良いですよと言われ、まずは100mをゆっくりと平泳ぎで。さあ、本番です。「ヨーイのあとパンと銃が打ち鳴らされてスタートです」と。実際にはピ、ピ、ピ、ピと四回電子音が鳴って、ヨーイと言われてそれからゆっくりとパンと鳴るのです。初めてですから、勝手が分かりません。

こちらは飛び込み台からのスタートだと、水中メガネが外れてしまうのではないかと危惧して、水中からのスタートを選択しました。ヨーイと言われたら水中にて待機するのが早く出るコツかなと想像して、だいたいのパンのタイミングで出てみました。すると、15mほど泳いだところでフライングや！との声が。やり直しです。水中なのでパンの音が聞こえません。二回目のスタート後は25mも泳いでしまい、三回目にはスタートマンのおじさんが怒号をあげる始末で、最後のスタートではもうフラフラ状態でした。でも死力をふりしぼって泳ぎました。おもっていたよりも50mがきつく、ここでやめておいたらよかったと思いましたが、これを逃すとこの先の人生で一回も100mのタイムレースを泳ぎ切ることができないと思い直し、苦しい後半戦をなんとか泳ぎきりました。すこし溺れかけでゴールしました。

タイムが気になりますが、全身が疲れ切っていて、プールからプールサイドに上がるのもギリギリでした。倒れないようにと気張りながら更衣室に向かいました。ゆっくりと着替えて、さあ結果を確認です。1分48秒27と印字された賞状をもらいました。ガクッ、素人判断で100mだから100秒くらいかと思っていたのに108秒もかかってしまったのか。50mだったら50秒くらいだったかな、いやまあまあの数字なのかも。などと考えながら家で記録についてネットで調べてみました。するとこの夏開かれた大会があり、それに出場する選手の足切りタイムが書いてありました。一般だと59秒、小学校5年生で、1分19秒とあるではないですか！全然だめでした。小学生のスイマーよりも30秒も遅かったのです。

でもこの話にはまだ後日談があります。一週間後のプールの日、思ったよりもすいていたので、屋内25mプールにて壁の時計とにらめっこしながら、50mをクロールで普通に泳いでみたのです。結果は57秒。二回やって二回とも57秒でした。ということは100mならば114秒以上かかるのです。8月31日に泳いだ108秒という結果は、記録という意味では全くでしたが、僕の中では頑張った結果だと納得することができました。しかも人間の煩惱の数と言われている108に合致しているので、しばらくは忘れられない思い出に残る数字となりそうです。